

報道機関各位

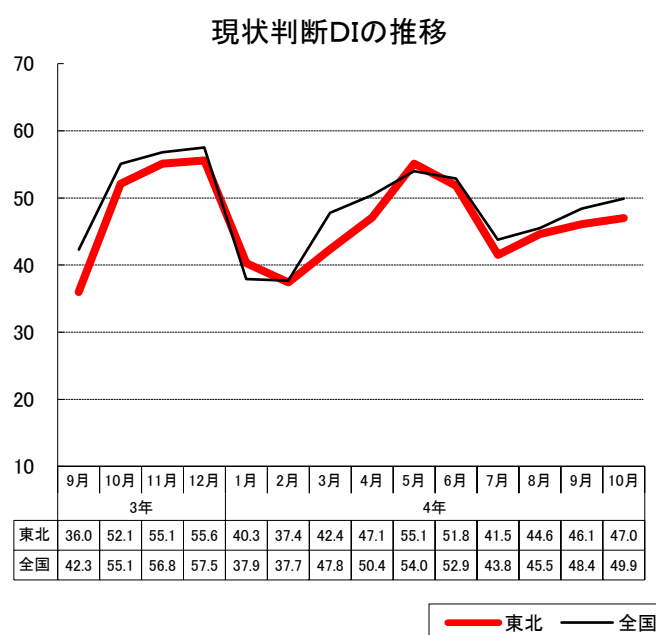
公益財団法人東北活性化研究センター  
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年10月 東北分  
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年10月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

## 1. 季節調整値

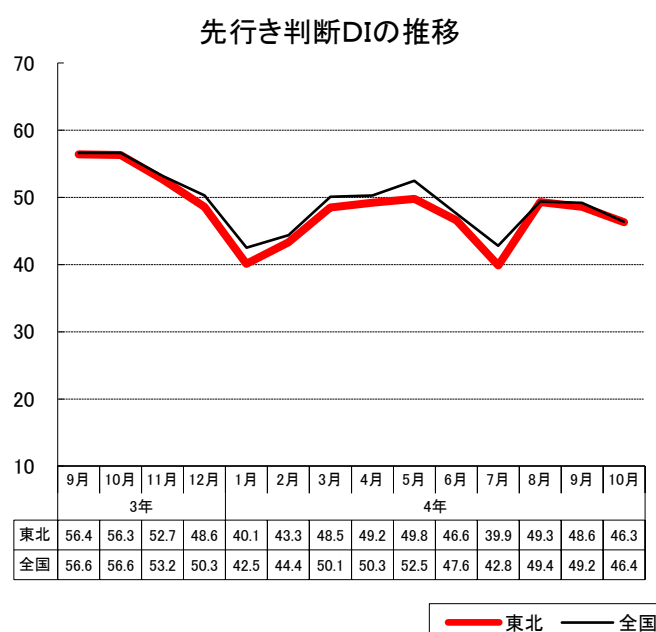
### （1）現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「47.0」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.9 ポイント上昇した。



### （2）先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

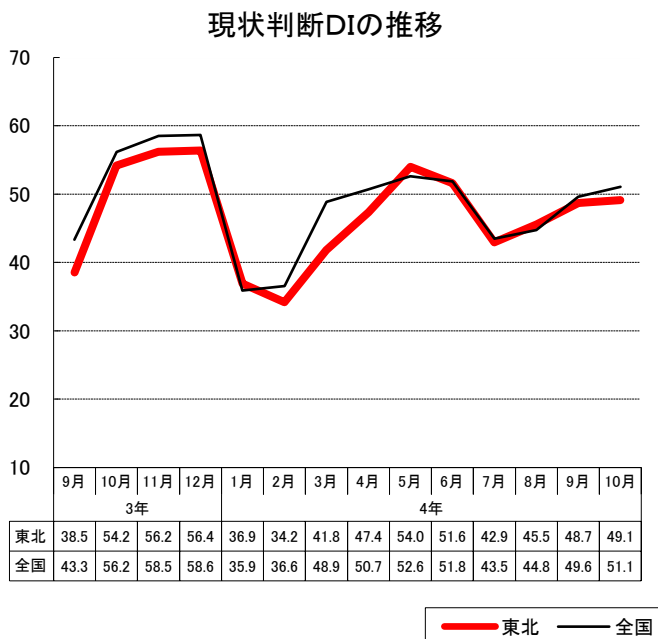
先行き判断 DI は「46.3」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲2.3 ポイント低下した。



## 2. 原数値

### (1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断 DI は「49.1」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.4 ポイント上昇した。



○家計動向関連…衣料品専門店、コンビニ、設計事務所等の業種で DI が前月を下回ったが、一般小売店、旅行代理店、その他小売[ショッピングセンター]等の業種で DI が前月を上回った。

DI は「47.6」(+0.2)と、3か月連続で前月を上回った。

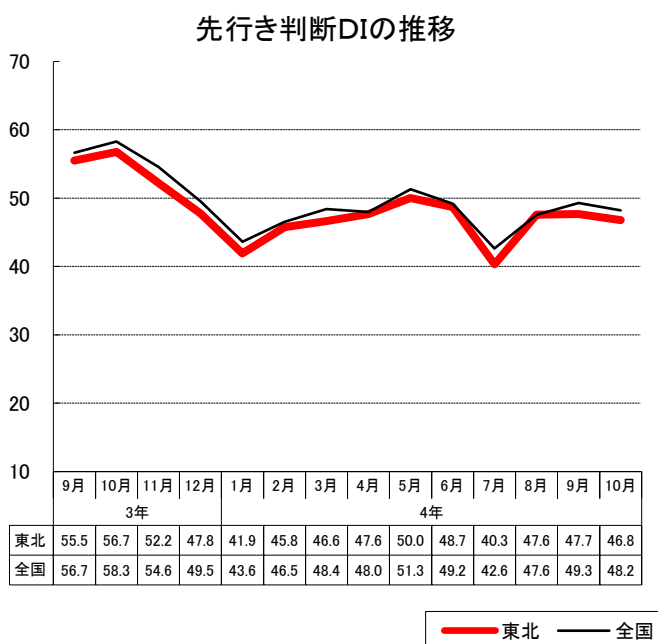
○企業動向関連…一般機械器具製造業、コピーサービス業、食料品製造業の業種で DI が前月を上回ったが、建設業、金属製品製造業、土石製品製造販売等の業種で DI が前月を下回った。

DI は「49.3」(▲2.8)と、3か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DI は「57.9」(+7.9)と、2か月ぶりに前月を上回った。

### (2) 先行き判断 (2～3か月先の見通し、方向性)

先行き判断 DI は「46.8」と3か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲0.9 ポイント低下した。



○家計動向関連…一般小売店、高級レストラン、観光名所・遊園地・テーマパーク等の業種で DI が前月を上回ったが、コンビニ、観光型ホテル・旅館、スーパー等の業種で DI が前月を下回った。

DI は「45.7」(▲0.6)と、3か月ぶりで前月を下回った。

○企業動向関連…食料品製造業、金融業、その他非製造業[飲食料品卸売業]の業種で DI が前月を上回ったが、輸送業、金属製品製造業、農林水産業等の業種で DI が前月を下回った。

DI は「48.6」(▲3.5)と、2か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DI は「50.0」(+2.6)と、2か月ぶりに前月を上回った。

## <参 考>

### ■D I の推移（原数値）

#### （１）現状判断（方向性）D I

|          | 3年   |      |      |      | 4年   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|          | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  |
| 東北現状     | 38.5 | 54.2 | 56.2 | 56.4 | 36.9 | 34.2 | 41.8 | 47.4 | 54.0 | 51.6 | 42.9 | 45.5 | 48.7 | 49.1 |
| 家計動向関連   | 36.8 | 51.8 | 54.3 | 55.4 | 33.6 | 31.0 | 42.5 | 46.8 | 54.6 | 51.1 | 41.3 | 42.8 | 47.4 | 47.6 |
| 企業動向関連   | 43.4 | 56.6 | 55.1 | 56.6 | 40.0 | 38.6 | 40.0 | 47.1 | 51.4 | 50.0 | 46.5 | 49.3 | 52.1 | 49.3 |
| 雇用関連(参考) | 40.0 | 64.5 | 69.7 | 62.5 | 51.3 | 46.1 | 40.8 | 51.3 | 55.3 | 57.9 | 46.1 | 55.3 | 50.0 | 57.9 |

#### （２）先行き判断D I

|          | 3年   |      |      |      | 4年   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|          | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  |
| 東北先行き    | 55.5 | 56.7 | 52.2 | 47.8 | 41.9 | 45.8 | 46.6 | 47.6 | 50.0 | 48.7 | 40.3 | 47.6 | 47.7 | 46.8 |
| 家計動向関連   | 53.9 | 53.7 | 50.4 | 45.7 | 40.9 | 45.1 | 46.4 | 47.0 | 49.1 | 48.3 | 38.3 | 44.3 | 46.3 | 45.7 |
| 企業動向関連   | 56.6 | 58.1 | 54.4 | 51.5 | 45.0 | 47.9 | 45.0 | 47.1 | 47.1 | 47.1 | 45.8 | 56.1 | 52.1 | 48.6 |
| 雇用関連(参考) | 62.5 | 72.4 | 59.2 | 54.2 | 42.1 | 46.1 | 51.3 | 52.6 | 60.5 | 53.9 | 42.1 | 51.3 | 47.4 | 50.0 |

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 令和4年10月25日～31日

回答者数 171/189 名、回答率 90.5%（全国 1,855/2,050 名、90.5%）

以 上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （１）現状判断理由

##### ○「良くなっている」

（その他小売[ショッピングセンター]）…全国旅行支援の効果もあり、鉄道を利用した旅行客を始め、流動客が増えてきており、それが来客数の増加につながっている。

（観光型旅館）…季節要因に加え全国旅行支援もあり、予約状況は順調である。

（食料品製造業）…全国旅行支援がスタートしたため観光客が増えており、土産需要が好調である。ただし、前年比では良いが、新型コロナウイルス感染症発生前までは戻っていない。

##### ○「やや良くなっている」

（一般小売店[医薬品]）…全国旅行支援のおかげで、多くの旅行客が街に入っている。客に尋ねると、ほとんどの人から旅行中との答えが返ってくる。

（その他専門店[白衣・ユニフォーム]）…いよいよ観光業が活発になってきている。鉄道や飛行機の乗車率も上がってきており、各地の観光客も増えてきている。飲食店にも客が戻り始めている。ようやく街に活気が戻ってきた。少しずつだが制服の注文がきている。

（旅行代理店）…11 日から全国旅行支援が始まり、団体は依然として小グループが大半であるものの、団体、個人共に動きが出ている。観光・旅行業界全体として景気は上向きに転じているものの、旅行会社だけみると割引額の旅行会社予算枠が増加されない県もあり、景気は上向いていない。

（一般機械器具製造業）…新規設備投資案件の引き合いが徐々に増えてきている。

（新聞社[求人広告]）…新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きと感染防止対策の緩和、旅行喚起策により、取引先企業の活動が活発化している。広告出稿の問合せ件数、掲載数が増加傾向にある。

（職業安定所）…イベント開催による人出の増加や全国旅行支援等の追い風もあり、前年と比べ宿泊業、飲食サービス業、卸売業、小売業において求人数が伸びている。

##### ○「変わらない」

（百貨店）…ここ数か月は前年まで中止していた催事、イベント等が再開できており、来客数、売上共に前年比でプラスを維持している。

（家電量販店）…新型コロナウイルス感染症の状況が余り変わっていないことと、商品の値上げの動きがかなり活発になってきていることにより、販売量が鈍化している。

（乗用車販売店）…来客数は増えつつあり受注もあるが、納期が不安定である。配車予定が出ても延期になることが多く、登録準備に支障を来している。

（一般レストラン）…来客数は良いときと悪いときがはっきりしていて、景気の良しあしは何ともいえない状況である。ただし、客の話を聞く限りでは余り良い話はない。

（建設業）…原油高による材料価格の上昇は価格に一部転嫁しており、現状影響は少ない。円安の影響も今のところはない。

（コピーサービス業）…主力商品の納期が改善し、余り待たせずに納品できる状況になってきた。ただし、足元では値上げの案内が来ており、売上増加となるかは微妙である。

（その他非製造業 [飲食料品卸売業]）…商品の値上げが続き、単価は上がっている。目玉商品が多く入荷したため、販売量が前年を上回っている。

（人材派遣会社）…求人数は前年と比較して増加しているが、欠員補充等によるオーダーであり、景気好調によるオーダーではない。

## ○「やや悪くなっている」

(スーパー) …10月は平均1品単価の前年比は4%強まで上がってきた。来客数は依然前年を割っており横ばいである。買上点数の前年比は5%強の減少となっている。引き続き、食品消費にも生活防衛的行動が見て取れる。消費状況は良くない。

(衣料品専門店) …円安や物価高騰による買い控えが進んでおり、例年と比べるとその場で購買決定する人が減少している。

(高級レストラン) …コロナ禍が収まってきているが、売上がさほど伸びてこない。

(競艇場) …常連客のみで、新規客や大口客が全く来場しない状況が続いている。

(美容室) …着物を着る人が少なくなり、着付けの仕事がなくなっている。

(設計事務所) …物価上昇、建築資材不足等により当初計画の見直しが必要になっている。縮小や減額案を作成しているうちに、更に見直しの追い打ちを掛けられて、進まない案件が出てきている。

(金属製品製造業) …受注は好調だが、電気代を始め経費が増加している。

## ○「悪くなっている」

(商店街) …閉店する店がどんどん増えている。電気料金が値上がりしており、この先もまだ増えそうである。

(コンビニ) …新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き人も動き始めてきたが、最低賃金の引上げと光熱費の上昇が痛すぎる。光熱費は前年比150%であり、24時間365日のコンビニには大打撃である。冬を前にして既に経営に行き詰まっているオーナーもたくさんいる。このまま続くと経営自体ができなくなる。

(土石製品製造業) …官需、民需共に低調である。原材料価格や燃料費等の高騰により製品価格の値上げをしているが、追い付かない状況である。

## (2) 先行き判断理由

### ○「良くなる」

(食料品製造業) …店舗では予約キャンセルも発生しなくなっている。ギフト用品への採用もみえてきていることから、売上は今後も伸びる見通しである。スタッフの確保が急務である。

### ○「やや良くなる」

(商店街) …新型コロナウイルスの感染状況に収束感がある。インバウンドも増加するとみている。

(一般小売店[医薬品]) …市の施策であるスタンプラリーが10月20日から始まっており、来年の2月末まで続くため、来客数が多くなることを期待している。

(その他専門店[白衣・ユニフォーム]) …これまで動けなかった人たちが一気に動き出すとみている。観光地はもちろん、地元の人々もようやく宴会などができるようになってくる。年末年始にかけて人の動きも消費も良くなることを期待している。

(観光名所) …募集型の団体客や団体客、個人客のいずれも予約状況は大変好調である。この好調さはしばらく続くとみている。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …新型コロナウイルスの新規感染者数の全数把握の簡略化が、行動を自粛するような人々の心理面にも影響を与えており、新型コロナウイルスの感染を許容する世の中の風潮が形成されつつある。

(人材派遣会社) …消費活動がかなり戻ってきており、各企業とも仕事は大分増えてきている。しかし、人材を採用しにくくなっており、時給など待遇面を見直す必要が出てきているため、人件費が高騰している。よって、やや上向くもののそれ以上にはならないとみている。

### ○「変わらない」

(コンビニ) …人の動きが活発になり来客数は増加傾向にある。しかし、燃料費や原材料費の値上がりが進み、物価高により客の購買意欲が低下することが懸念される。経費の増加を考えると新型コロナウイルス感染症

発生前の水準まで景気が回復することは難しいとみている。

（乗用車販売店）…納期が不安定であるため、別の収益確保を考えなくてはならないが、中古車、サービス共に苦戦している。

（観光型旅館）…全国旅行支援が終了することと、物価高や円安のことを考えれば、良くなることはない。

（輸送業）…新型コロナウイルスの新規感染者数がまた増えてきた。円安等の影響もあり物価の上昇も収まらない。さらに、今後インフルエンザの流行も予想される。これらの要因が景気の上向き傾向に水を差すことになるのではないかと懸念している。

（金融業）…円安水準が現状程度を維持し、かつ新型コロナウイルス感染症の第8波がなければ、引き続き観光需要取り込みの拡大は期待できる。一方で当地においても、これまでコロナ禍のなか企業体力を削りながら耐えてきた製造業や小売業から、いよいよ再編や廃業、業態転換などの変化が出てきてもおかしくない。

（新聞社[求人広告]）…新型コロナウイルス感染症の影響は弱まるが、円安傾向がいつまで続くのかに左右されるとみている。

（職業安定所）…受注が順調で労働力不足を訴える求人事業所は多い。しかし、一部の産業では、資材価格や燃料・電力価格の高騰や円安が収益を圧迫する等の理由から求人を絞り込んだり、様子見をしたりする動きもあり、それらが相殺されて変わらないとみている。

## ○「やや悪くなる」

（スーパー）…値上げラッシュが続く。特に東北地域は冬に向かい燃料費の高騰などで厳しい状況が続くとみている。

（高級レストラン）…これから原材料の価格高騰による値上げがあり、消費の落ち込みが予想される。全国旅行支援などはあるが、安くなっているから来客数が伸びているわけで、それが終われば買い控えをする人が多くなるとみている。中小企業にとっては一層厳しくなる。

（タクシー運転手）…秋の紅葉は観光客が局地的に訪れるが、12月から1月は人の行動範囲が全国に広がるため、落とされる金も全国に散らばる。

（農林水産業）…生産資材が軒並み値上がりしている。特に肥料の値上がりは3～4割程度と大きく、経済的に厳しくなっている。

（金属製品製造業）…客先との交渉により経費増加分の一部を負担してもらえそうだが、全てを負担してもらうことは難しそうである。経費の増加分は更に増える可能性もある。

（通信業）…物価上昇の影響でスマートフォンなど通信デバイスの値段も上がっており、購入をためらう客が増えている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上